

## 第534回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成20年9月24日(水) 午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- |         |             |
|---------|-------------|
| 委員数     | 11名         |
| 出席委員    | 8名          |
| 出席委員の氏名 |             |
| 委員長     | 田代 高章       |
| 委員      | 大村友貴美 河村 泰信 |
|         | 工藤 和彦 小松 務  |
|         | 杉本 博 田辺 博   |
|         | 矢佐 俊幸       |
| 欠席委員の氏名 |             |
|         | 熊谷志衣子 澤口たまみ |
|         | 宮澤 徳雄       |
- 会社側出席
- |       |             |
|-------|-------------|
| 阿部 正樹 | 代表取締役社長     |
| 川島 敬司 | 専務取締役       |
| 熊谷 鉄郎 | 取締役テレビ編成局長  |
| 川上 隆  | 取締役ラジオセンター長 |
| 神 初見  | 報道局長        |
| 姉帯 俊之 | 制作部長        |
- 事務局
- |       |           |
|-------|-----------|
| 馬場由紀子 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 事務局       |
4. 議題 テレビ番組『がんに立ち向かう～がん治療最前線』

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- ・全国的に最新の医療を扱う番組が放送されますが、はたして、岩手県の事情はどうか不安に思っていた人も多かったのではないかと。しかしその点を解消してくれた内容でした。具体的でわかりやすく、かつ見やすく滞りなく頭に入りました。新たな見識を持てた番組だった。
- ・がん治療の目覚ましい進歩を知った。がんは早期発見・早期治療を行えば不治の病ではないことがわかり、安心をもたらしてくれた良い番組だった。  
岩手医科大学での手術の映像は生々しいところもあったが、患者さんのインタビューや治っていく傷口の紹介などを見て、最新のがん治療は患者さんに負担の軽い手術であることがよくわかりました。
- ・もりおか往診クリニックの取り組みが紹介された。24時間態勢で在宅の患者さんを診る、ケアをする。治療も施す。自分の家で最期を迎えたいと願う患者さんやその家族も多いと思うが、望めば今やそれが可能だと知り心強く感じた方も多かったのではないかと。
- ・早期発見はもちろん大事なことであるが、残された人生を大切に生きるという意味からも、在宅緩和ケアがこれから大事なテーマになると思う。これらをテーマにした番組の企画も検討して欲しい。
- ・テーマから見て、重苦しい番組かと思っていたが実はそうでもなかった。体に優しいがんの治療方法が紹介され、日進月歩の治療の進歩が十分理解できた。ポイントや専門用語はテロップで説明されておりわかりやすかった。